

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-4～書写-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい 書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされている。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元に、身につける知識・技能のポイントを示した『書写のかぎ』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、見出しと記事の内容を考えて新聞を書くなどの学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、課題の設定から生活に広げるまでの学習活動が『書写の学び方』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、他者との関わりを取り入れたお礼の手紙を書くなどの学習活動が『学びをいかそう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書く活動など学校内外の人々との交流を図る学習活動が『学びを生かそう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、地域行事に関する日記や、工場見学などについて新聞を書く学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げよう』という流れで学習の見通しを示した『書写の学び方』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、生活科の観察カードを書くなど、他教科等と関連する学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、手紙を書くなど、学習した『書写のかぎ』に示された書き方をする学習活動が『学びを生かそう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや書き初めの歴史などについて取り上げた『文字といっしょに』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生活に生かして書く学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、あいさつや花の名前などの身の回りの文字が示された『がっこうにはどんなもじがあるかな』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、リーフレットを書くなど、書写で学習したことを自分の生活と結び付ける学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、折れや払いなどを点や点線などで示した文字や、写真、イラストが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『漢字同士の大きさ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、硬筆で課題を見つけ、毛筆で課題の解決に取り組み、硬筆で振り返る学習活動の流れが『書写の学び方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、毛筆では筆使いを朱墨の濃淡や赤い点線などで示した『毛筆で書いてみよう』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立つ観点について、実験記録を書くなど、学習したことを他教科での学習や生活に広げていく学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとに1冊で構成されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判変型が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-4～書写-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	小学 書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされている。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元に、身につける知識・技能のポイントを示した『めあて』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、読み手を意識してポスターを書くなどの学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、書写で学習したことを学校生活や日常生活で実際に活用するまでの学習活動が『学習の進め方』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、感謝の気持ちを手紙に書いたり、お世話になった方への招待状を書いたりする学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、毛筆を用いて年賀状を書くなどの学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、町探検でお世話になった方へのパーティーの招待状や、見学先へのお礼状を書く学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げよう』という流れで学習の見通しを示した『書写の学び方』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科の実験記録を書くなど、他教科等と関連する学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、新聞の作成など、学習したことを生活や授業で生かす学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字や平仮名の成り立ちや、様々な郷土かるたなどについて取り上げた『文字の世界』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験をもとに観察カードや新聞やポスターなどを書く学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、ポスターや教室表示など、身の回りの文字が『みつけてみようかいてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、総合的な学習の時間にポスターを書くなど、書写で学習したことを他の教科等や日常生活に生かす学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨や朱墨で示された文字に点や矢印などを示した文字や、写真やイラストが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『文字の大きさ(漢字と平仮名)』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、学習の始めに硬筆や毛筆で試し書きをし、学習後にまとめ書きをする学習の流れが『学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡や矢印、点などで筆使いを示した『点画の種類』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立てる観点について、手紙を書くなど、書写で学んだことを他教科等での学習や生活の場面で用いる学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとに1冊で構成されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-4～書写-10)を参照。

発行者の略称	光村	書名	書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされている。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元の冒頭に、身につける知識・技能のポイントを示した『ねらい』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、文字の大きさや配列に注意してリーフレットを作るなどの学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、気づいたことを話し合い、できたところを確かめあう学習活動が『学習の進め方』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、相手に気持ちが伝わるように手紙を書くなどの学習活動が『書写ひろげたい』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、他者と交流を図るために手紙を書くなどの学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、お世話になった方へのお礼状や手紙を書く、新聞を読み取る学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『考えよう、確かめよう、生かそう』という流れで学習の見通しを示した『学習の進め方』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科などで新聞やポスターを書くなど、他教科等と関連する学習活動が『書写ブック』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、リーフレットの作成など、情報を整理したりまとめたりして書く学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、書き初めの意味や歴史などについて取り上げた『書きぞめ』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことを理科など他教科と関連させて書く学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、教室表示などの身の回りの文字や、字を書く姿勢などが『しよしやすたーとぶっく』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、手紙を書くなど、書写で学習したことを生活科など他教科と関連させて生かす学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、筆の流れを赤い点線で示した文字や、写真やイラストなどが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『用紙に合った文字の大きさ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で学習した内容を生かして硬筆で書く学習活動の流れが『学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、毛筆では朱墨の濃淡やキャラクターの顔の向きなどで筆使いを示した『点画の種類』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立つ観点について、お礼状を書くなど、書写で学んだことを他教科等での学習や生活につなげる学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとに1冊で構成されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判変型が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『タイトルや「たいせつ」には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《国語(書写)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く『知識・技能』を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、各単元に、身につける知識・技能のポイントを示した『書写のかぎ』が掲載されている。第6学年では、道具の準備の仕方や書きやすい姿勢、これまでに学習した点画の種類と毛筆での書き方の留意点などが示された『学習の準備をしよう』が掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各単元に、身につける知識・技能のポイントを示した『めあて』が掲載されている。第6学年では、書写の学習の進め方やこれまでに学習した点画の種類と毛筆で書く際の留意点、正しい姿勢と道具の扱い方などについて示した『はじめの学習』が掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各単元の冒頭に、身につける知識・技能のポイントを示した『ねらい』が掲載されている。第6学年では、これまでに学習した点画の種類や毛筆で書く際の点画のつながり、部分の組み立て方の留意点などが示された『書写ブック』が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、見出しと記事の内容を考えて新聞を書くなどの学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。書写の学習の流れが『書写の学び方』に掲載されている。巻頭では、『書写のかぎ』の考え方が理解しやすいよう『おかしな○○』が漫画形式で掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、読み手を意識してポスターを書くなどの学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。めあてに沿って考える学習活動を位置付けた『学習の進め方』が掲載されている。単元ごとに「ためし書き」と「まとめ書き」を行い、児童同士でふり返ったり友達と伝え合ったりするように設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、文字の大きさと配列に注意してリーフレットを作るなどの学習活動が『書写広げたい』に設定されている。書写の学習の進め方が『学習の進め方』に掲載されている。第6学年では、文字は書く人によって味わいが異なることを示す資料が掲載され、自身の文字を振り返る学習の流れが示された『私の文字』が掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、課題の設定から生活に広げるまでの学習活動が『書写の学び方』に設定されている。第6学年では、学習してきたことをどのように生かしたか、また、これからどのように生かすかを話し合う学習活動が『書写展覧会を開こう』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、書写で学習したことを学校生活や日常生活で実際に活用するまでの学習活動が『学習の進め方』に設定されている。第6学年では、書写で学習したことを卒業制作として書く学習活動が『書いて、伝え合おう』に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、気づいたことを話し合い、できたところを確かめよう学習活動が『学習の進め方』に設定されている。第6学年では、小学校6年間で身に付けたことを生かして作品を制作する学習活動が『今の思いを書き残そう』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、他者との関わりを取り入れたお礼の手紙を書くなどの学習活動が『学びをいかそう』に設定されている。第4学年では、学習したことを生かして礼状を書く学習活動が『お礼の気持ちを手紙で伝えよう』に設定されている。第5学年では、カードや寄せ書きを書く学習内容が『六年生における言葉を書こう』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、感謝の気持ちを手紙に書いたり、お世話になった方への招待状を書いたりする学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。第4学年では、役割を分担して新聞を作成する学習活動が『学級新聞を作ろう』に設定されている。第5学年では、様々な国の「こんにちは」を紹介した『せかいの「こんにちは」』が掲載されている。
光村	[思いやる力]の「共生」について、相手に気持ちが伝わるように手紙を書くなどの学習活動が『書写ひろげたい』に設定されている。第4学年では、「未来を作るアイデア」を示した『みんなで考えようSDGsブック』が掲載されている。第5学年では、英語で書いた自己紹介カードの例が『英語で書いてみよう』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書く活動など学校内外の人々との交流を図る学習活動が『学びを生かそう』に設定されている。第2学年では、感謝の気持ちを手紙に書く学習活動が『「ありがとう」をつたえよう』に設定されている。第6学年では、展覧会を開いて友達と感想を伝え合う学習活動が『書写展覧会を開こう』に設定されている。
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、毛筆を用いて年賀状を書くなどの学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。第2学年では、お薦めの本のカードを友達と見合い感想を伝え合う学習活動が『しょうたいじょう、本のしょうかいカードを書こう』に設定されている。第6学年では、友達同士で確かめながら作品や寄せ書きを制作する学習活動が『思い出に残る言葉を書こう』に設定されている。
光村	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、他者と交流を図るために手紙を書くなどの学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第2学年では、お世話になった方へのお礼状を書く学習活動が『よこ書きの書き方』に設定されている。第6学年では、構成や割付を考えてパンフレットを書く学習活動が『パンフレットの書き方』に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、地域行事に関する日記や、工場見学などについて新聞を書く学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第1学年では、お祭りに行った日記の例示が『にっきをかこう』に掲載されている。第5学年では、委員会の仕事について活動報告のリーフレットを作成する学習活動が『委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、町探検でお世話になった方へのパーティーの招待状や、工場の見学先へのお礼状を書く学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第2学年では、お世話になった方へ招待状を書く学習活動が『しょうたいじょう、本のしょうかいカードを書こう』に設定されている。第5学年では、書く相手や目的に応じた言葉遣いで手紙を書く学習活動が『工場見学のお礼の手紙』に設定されている。
光村	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、お世話になった方へのお礼状や手紙を書く、新聞を読み取る学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第2学年では、お世話になった方へのお礼状が『よこ書きの書き方』に掲載されている。第5学年では、東日本大震災の際に手書きで発行された新聞からどのような印象を受けるか考える学習活動が『手書きの力』に設定されている。

3 内容と構成

○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、『見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げよう』という流れで学習の見通しを示した『書写の学び方』が掲載されている。第6学年では、展覧会を開いて友達と感想を伝えあう学習活動が『書写展覧会を開こう』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、『見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げよう』という流れで学習の見通しを示した『書写の学び方』が掲載されている。第6学年では、友達の選んだ言葉や、文字のよいところを見つけて話し合う学習活動が『好きな言葉を書く』に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、『考えよう、確かめよう、生かそう』という流れで学習の見通しを示した『学習の進め方』が掲載されている。第6学年では、ポスターの書き方によって情報の伝わり方がどう違うのかを話し合う学習活動が『伝えるって、どういうこと?』に設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	カリキュラム・マネジメントについて、生活科の観察カードを書くなど、他教科等と関連する学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第2学年では、生活科と関連しての観察カードを書く学習活動が『かんさつカードを書こう』に設定されている。第4学年では、社会科と関連して調べたことを新聞に書く学習活動が『調べたことを伝える新聞を作ろう』に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、理科の実験記録を書くなど、他教科等と関連する学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第2学年では、国語科と関連してお薦めの本をカードに書いて紹介する学習活動が『かいてみよう!』に設定されている。第4学年では、理科と関連して実験記録をノートに書く学習活動が『理科のノート』に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、社会科などで新聞やポスターを書くなど、他教科等と関連する学習活動が『書写ブック』に設定されている。第2学年では、国語科と関連して朝顔の観察カードを書く学習活動が『げんこう用紙に書くとき』に設定されている。第4学年では理科のノートを書く学習活動が、『横書きの書き方』に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、手紙を書くなど、学習した『書写のかぎ』に示された書き方をする学習活動が『学びを生かそう』に設定されている。第2学年では、相手のことを考えて丁寧に手紙を書く学習活動が『ありがとう』を伝えよう』に設定されている。第6学年では、分かりやすく伝える書き表し方を考える学習活動が『分かりやすく伝える書き方』に設定されている。
教出	言語能力の育成について、新聞の作成など、学習したことを生活や授業で生かす学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。第1学年では、友達への感謝の気持ちを手紙に書く学習活動が『ありがとうカードをかこう』に設定されている。第6学年では、好きな言葉を選んで字を書き、選んだ理由やめあてについて伝え合う学習活動が『好きな言葉を書く』に設定されている。
光村	言語能力の育成について、リーフレットの作成など、情報を整理したりまとめたりして書く学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第4学年では、文字の大きさや配列に留意して読みやすいリーフレットを作る学習活動が『リーフレットの書き方』に設定されている。第6学年では、ポスターを見比べて情報を伝わりやすくする工夫について考える学習活動が『伝えるって、どういうこと?』に設定されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや書き初めの歴史などについて取り上げた『文字といっしょに』が掲載されている。第4学年では、百人一首をなぞる学習活動が『書いて味わおう』に設定されている。第5学年では、外国語の文字であいさつなどの言葉が『世界の文字いろいろ』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字や平仮名の成り立ちや、様々な郷土かるたなどについて取り上げた『文字の世界』が掲載されている。第3学年では、筆の材料や作り方について『筆について知ろう』に掲載されている。第5学年では、相手に気持ちが伝わるような書き方を考える年賀状や寒中見舞いを書く学習活動が『年賀状、絵はがきを書こう』に設定されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、書き初めの意味や歴史などについて取り上げた『書きぞめ』が掲載されている。第1学年では、漢字の成り立ちについて考える学習活動が『かん字しらべたい』に設定されている。第5学年では、アイヌ民族の暮らしについて書かれた新聞が『めざせ！新聞記者』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生活に生かして書く学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第4学年では、清掃工場を見学した様子を新聞にまとめる学習活動が『調べたことを伝える新聞を作ろう』に設定されている。第6学年では、実際の生活場面に応じた書く速さについて話し合う学習活動が『書く速さ』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、体験をもとに観察カードや新聞、ポスターなどを書く学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第3学年では、大事なことを聞き逃さないようにメモを取り、模造紙にまとめる学習活動が『書いて伝えよう』に設定されている。第6学年では、場面や目的に合った書く速さについて話し合う学習活動が『話し合いメモ』に設定されている。
光村	体験活動の充実について、体験したことを理科など他教科と関連させて書く学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第2学年では、生活科でトマトの育て方を教えてくださった方へのお礼状を書く学習活動が『〈せいかつ〉よこ書きの書き方』に設定されている。第6学年では、職場体験の質問についての電子メールの書き方を考える学習活動が『通信文を見てみよう』で設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、あいさつや花の名前などの身の回りの文字が示された『がっこうにはどんなもじがあるかな』が掲載されている。第6学年では、学習した『書写のかぎ』を生かして作品を作り、中学校に向けてどのように使っていくかを話し合う学習内容が『書写展覧会を開こう』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、ポスターや教室表示など、身の回りの文字が『みつけてみようかいてみよう』に掲載されている。第6学年では巻末に、中学校で学習する行書の紹介や楷書と行書を書き比べる学習内容が『はってん』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、教室表示などの身の回りの文字や、字を書く姿勢などが『しゅしゃすたーとぶっく』に掲載されている。第6学年の巻末では、中学校の学習内容である行書について、教材文字と説明が『発展』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、リーフレットを書くなど、書写で学習したことを自分の生活と結び付ける学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第1学年では、絵日記の書き方が『につきをかこう』に掲載されている。第5学年では、構成や必要な資料を考えてリーフレットを書く学習内容が『委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう』に掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、総合的な学習の時間にポスターを書くなど、書写で学習したことを他の教科等や日常生活に生かす学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第1学年では、観察カードや絵日記の書き方が『かいてみよう』に掲載されている。第5学年では、読む人のことを意識してポスターを書く学習内容が『読み手を意識して書こう』に掲載されている。
光村	情報活用能力の育成について、手紙を書くなど、書写で学習したことを生活科など他教科と関連させて生かす学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第1学年では、生活の観察カードが『よこがきのかきかた』に掲載されている。第5学年では、アイヌ民族の暮らしについて書かれた新聞が『めざせ！新聞記者』に掲載されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、折れや払いなどを点や点線などで示した文字や、写真、イラストが掲載されている。第1学年では、基本の点画の書き方を『びたっ』『すうっ』『びょん』などのオノマトペを使った表現が『かきはじめとかきおわり』に掲載されている。第3学年では、毛筆学習の導入を写真で示した『毛筆を使って学習しよう』が掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨や朱墨で示された文字に点や矢印などを示した文字や、写真やイラストが掲載されている。第1学年では、基本の点画の仕方を『びたっ』『すうっ』などのオノマトペで表現した『せんのおわりのかきかた』が掲載されている。第3学年では、毛筆学習の導入を写真やイラストで例示した『はじめの学習』が掲載されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、筆の流れを赤い点線で示した文字や、写真やイラストなどが掲載されている。第1学年では、折れや曲がりなどの点画について、点や破線を教材文字の中に示した『「とめ」と「はらい」』が掲載されている。第3学年では、毛筆学習の進め方について、写真やイラストを用いて紹介した『毛筆スタートブック』が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『漢字同士の大きさ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。第4学年『筆順と字形』では、筆順によってはらいの長さが変わることについて考える学習活動を設定し、毛筆で書く動画が確認できるよう二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『文字の大きさ（漢字と平仮名）』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。第4学年『点画のせし方と間かく』では、点画の接し方と間隔に気をつけて書く学習活動を設定し、毛筆の動画で確認できるよう二次元コードが掲載されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『用紙に合った文字の大きさ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。第4学年『部分の組み立て方（上下）』では、上下の組み立て方に気をつけて書く学習活動を設定し、毛筆の動画で確認できるよう二次元コードが掲載されている。

⑩ 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	毛筆と硬筆との関連について、第3学年以上では、硬筆で課題を見つけ、毛筆で課題の解決に取り組み、硬筆で振り返る学習活動の流れが『書写の学び方』に掲載されている。第1・2学年では、水をつけた筆や絵筆などを用いた書き方を示した『水書用紙』が掲載されている。また、巻末には『水書用紙』が掲載されている。
教出	毛筆と硬筆との関連について、第3学年以上では、学習の始めに硬筆や毛筆で試し書きをし、学習後にまとめ書きをする学習の流れが『学習の進め方』に掲載されている。第2学年では、水筆を用いて文字を書く学習活動が『画の方向』に設定されている。また、第1・2学年の巻末に『水書用紙』が掲載されている。
光村	毛筆と硬筆との関連について、第3学年以上では、毛筆で学習した内容を生かして硬筆で書く学習活動の流れが『学習の進め方』に掲載されている。第1・2学年では、水筆を用いて字や線を書く学習活動が『水ふでで書いてみよう』に設定されている。また、第1・2学年の巻末に、『水書用紙』が掲載されている。
⑪ 適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	正しい運筆の能力の育成について、毛筆では筆使いを朱墨の濃淡や赤い点線などで示した『毛筆で書いてみよう』が掲載されている。第6学年では、文字と文字のつながりを考えて書く学習活動が『文字と文字のつながり』に設定されている。
教出	正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡や矢印、点などで筆使いを示した『点画の種類』が掲載されている。第6学年では、点画のつながりに気を付けて毛筆で書く学習活動が『文字の大きさと配列、点画のつながり』に設定されている。
光村	正しい運筆の能力の育成について、毛筆では朱墨の濃淡やキャラクターの顔の向きなどで筆使いを示した『点画の種類』が掲載されている。第6学年では、つなげるように書く際の筆の動きを意識して毛筆で書く学習活動が『書き初め』に設定されている。
⑫ 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生活に役立てる観点について、実験記録を書くなど、学習したことを他教科での学習や生活に広げていく学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第3学年では、学習したことを生かして実験記録を書く学習活動が『実験したことを記録しよう』に設定されている。第5学年では、伝える相手と内容を考えて書く学習活動が『委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう』に設定されている。
教出	生活に役立てる観点について、手紙を書くなど、書写で学んだことを他教科等での学習や生活の場面で用いる学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第1学年では、友達のよいところやありがとうの気持ちを書いて伝える学習活動が『ありがとうカードを書こう』に設定されている。第4学年では、文字の大きさと配列に気を付けて短歌を書く学習活動が『短歌』に設定されている。
光村	生活に役立てる観点について、お礼状を書くなど、書写で学んだことを他教科等での学習や生活につなげる学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第2学年では、生活科の学習と関連した横書きのお礼状が『よこ書きの書き方』に掲載されている。第5学年では、英語でカードを書く学習活動が『英語で書いてみよう』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学年ごとに1冊にまとめられている。学年ごとのまとめや、はがきや手紙、メッセージカードの書き方などが『学びを生かそう』に掲載されている。巻末では『書写のかぎ』がまとめて掲載されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。
教出	学年ごとに1冊にまとめられている。カードや招待状の書き方、メモ・発表資料の作り方、新聞の書き方、年賀状・はがきの書き方などが『書いて伝え合おう』に掲載されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。
光村	学年ごとに1冊にまとめられている。『たいせつ』の内容が『〇年生のまとめ』にまとめられている。インタビューメモやパンフレットの書き方などが『書写広げたい』に掲載されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB5判変型が採用されている。
教出	判型はB5判が採用されている。
光村	判型はB5判変型が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン（後略）』『タイトルや「たいせつ」には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	なし
教出	第4学年 31ページ 『都道府県名を書いてみよう』 神奈川
光村	第4学年 22ページ 『リサイクルした書道用紙を使った書写のじゅ業の様子』（大井町） 第5学年 13ページ 『濱明朝』（横浜市） 37ページ 『都道府県漢字』 神奈川

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)							
発行者名	総冊数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
東書	6	119	111	125	118	118	118
教出	6	114	97	124	124	111	111
光村	6	119	105	135	117	107	123